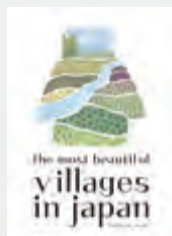


広報 
No.744
令和8年

いいたて 2

www.vill.iitate.fukushima.jp



おめでとう！二十歳の成人式

飯館村10大NEWS!

1
210票

ハシドラッグ飯館店オープン!

5月29日、『ハシドラッグ飯館店』が待望のオープン! 開店に合わせ店舗前でセレモニーが行われ、関係者がテープカットを行った他、多数の村民が来店し、買い物を楽しみました。



2
169票

山津見神社の例大祭

12月4日から6日に例大祭を開催。15年ぶりに茶屋や屋台が軒を連ね、伝統芸能に加えて演劇や詩の朗読などが奉納されました。



3
136票

クマの被害に備えてクマ鈴緊急配付

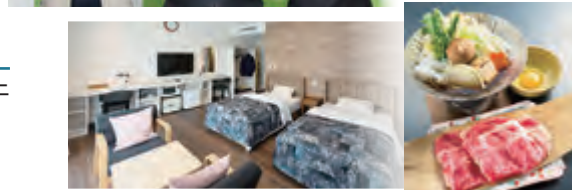
全国的にクマの被害が拡大。村でも目撃情報が増え、10月、全戸と関係機関にクマ鈴が緊急配付されました。



4
127票

「きこり」食事付き宿泊プラン再開!

「宿泊体験館きこり」が、11月1日、飯館産黒毛和牛や地元野菜を使った料理の提供を再開!



5
119票

飯館村議会議員一般選挙

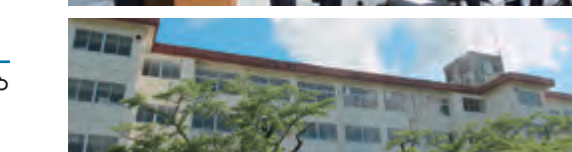
9月21日投票で執行。翌22日には当選証書付与式を行い10人の新議員に当選証書を付与。



6
108票

相農飯館校、解体を前に見学会を実施

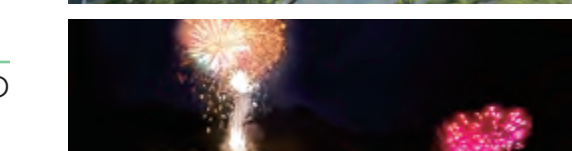
6月14日・15日に行われた見学会。多くの卒業生や先生方が校舎を訪れ思い出を語り合いました。



7
86票

はやま湖まつり2025

7月26日に開催。地域の協力で出店が並び大倉の神楽の披露に続いて花火大会が行われました。



8
83票

交通事故死亡者ゼロ3,000日を達成

12月4日、交通事故死亡者ゼロの継続日数が3,000日に達し県の表彰を受けました。



9
78票

長泥曲田地区の一部で避難指示解除

3月31日、長泥曲田地区の一部で避難指示が解除され、資源活用型堆肥製造施設が操業をスタート。



9
78票

「あぶくまもち」おこわおむすび販売

1月よりコンビニエンスストア「セブンイレブン」が飯館産あぶくまもちのおこわおむすびを販売。



令和7年 10大NEWS 結果発表!

あなたを選ぶ村のニュースベスト10! 皆さんの投票で決定した10大ニュースで令和7年を振り返りましょう。
全戸配付の投票用紙による投票に加え、昨年度に続いてオンライン投票も実施。12月末の募集開始から1月23日の締切までに、合計で430通の投票をいただきました。
さて、その結果は...!
『令和7年飯館村10大ニュース』を発表します!

最多9問正解で金賞GET!



最多正解数は9問で、藤井富男さん(上飯樋)が金賞に輝きました!
9問正解は藤井さんのみ。
おめでとうございます!
金賞の賞品は5万円分のお肉~!



銀賞は3本で宿泊体験館きこりの食事付き宿泊プラン宿泊券を、銅賞は10本でいいたて村の道の駅までい館の商品券3,000円分をプレゼントします!



10大NEWSの動画で
令和7年を振り返る!

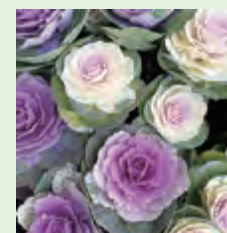
10大NEWS
発表動画
制作中!



発表動画はYouTubeの飯館村公式チャンネルで2月下旬に公開予定。お楽しみに! 過去の動画も公開中です。「飯館村10大ニュース」で検索して楽しんでください。

今回の10大NEWSの公開日は
村HP等でお知らせします。

広報いいたて
2026年2月号



寒さに強く鮮やかに色づいて、冬の花壇に彩りを添えるハボタン。色や形のバリエーションが豊富。

目次 CONTENTS

- 02 話題「令和7年飯館村10大NEWS!」
- 04 特集1「いいたてプレミアム付ほのぼの商品券」
- 08 特集2「読書メッセージコンテスト」
- 10 学びの広場「だんごさし」ほか
- 12 ほけんとふくし「ここから調査のお知らせ」
- 14 特集3「令和8年飯館村成人式」
- 16 空から百景「新雪と青空」
- 18 いいたて便り
- 20 話題のパレット
- 22 村からおしらせ「百歳賀寿」ほか
- 24 なりわいREPORT
- 25 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 26 いいたてPHOTOリレー ほか
- 27 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS ほか

📷 今月の表紙



おめでとう! 二十歳の成人式に笑顔が集いました。式の様子はP14の記事でご覧ください。

村はイベントや取り組み取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613 までお知らせください。

● 住民登録 がある方

1人7冊まで購入可

7冊購入で
2万1,000円もおトク!

令和7年12月1日から令和8年8月31日までの期間に村内に住民登録している方が対象になります。

「いいたてプレミアム付ほのぼの商品券購入者・使用者証」が送付されます。(今後住民登録をされる方には、登録後2週間を目安に送付されます)。

飯館村商工会で、「いいたてプレミアム付ほのぼの商品券購入者・使用者証」を提示し、商品券を購入してください。



販売価格 1冊 5,000円

1,000円券 8枚綴り

飯館村商工会にて
1月31日から販売中!

販売は平日の午前9時から午後4時まで

販売期間 8月31日 月 まで

使用期限は9月30日 水 まで

特別販売日もあります

休日販売 2月中の毎週日曜日(時間は通常と同じ)

延長販売 2月中の毎週水曜日(午後6時30分まで)

「いいたてプレミアム付ほのぼの商品券」は3万2,600冊限定での販売。購入は先着順で、なくなり次第終了となります。

購入時に「いいたてプレミアム付ほのぼの商品券購入者・使用者証」をご提示ください。ふるさと住民の方は、ふるさと住民カードと身分証明書をご提示ください。

「いいたてプレミアム付ほのぼの商品券購入者・使用者証」の再発行はありません。大切に保管してください。

P6・7に商品券取扱店舗を掲載しています。全戸配付のチラシ裏面にもより詳しい情報がありますので参考にしてください。

その他、村内のイベントや商談会(開催時はチラシなどでお知らせします)でも使用できます。

● 村内事業所にお勤め の皆さん

1人3冊まで購入可

3冊購入で
9,000円もおトク!

令和7年12月1日から令和8年8月31日までの期間に村内事業所に勤務している方と、勤務することになった方が対象です。事業所を通じて購入のご案内をします。

村内事業所とは、飯館村商工会員の村内事業所、商品券取扱事業者として登録した村内事業所、村内の官公署・社会福祉施設・医療機関・金融機関を指します。

● ふるさと住民 の皆さん

1人3冊まで購入可

3冊購入で
9,000円もおトク!

令和7年12月1日から令和8年8月31日までの期間に「ふるさと住民」に登録している方が対象です。

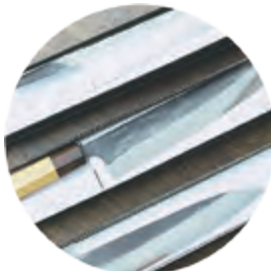
「ふるさと住民」の皆さんは、ふるさと住民カードと身分証明書を飯館村商工会窓口でご提示ください。



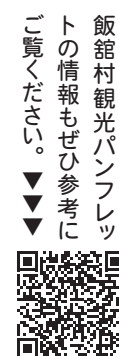
プレミアム率60%!

5,000円購入で8,000円分のお買い物!

いいたて プレミアム付 ほのぼの商品券



「広報いいたて」では桜のシーズンに合わせて観光特集を予定しています。飲食店などの最新情報も掲載予定です。商品券活用にもお役立てください。



飯館村観光パンフレットの情報もぜひ参考にしてください。▼▼▼

「いいたてプレミアム付ほのぼの商品券」は、国の「物価高騰の影響が顕著な地域」に指定された地域で、物価高騰の影響を受ける生活者や事業者への支援を通して地方創生を図ることを目的としています。地域の実情に応じた事業に交付されることから、「お米券」の配付に活用している自治体もあります。

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響が続く中、村では、プレミアム付商品券を発行して家計を応援します。また、村内事業所で勤務する方や、ふるさと住民の皆さんにも対象を広げ、需要を喚起し地域経済を活性化すると共に、ふるさと住民との交流拡大にも活用します。

「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」は、物価高騰の影響を受ける生活者や事業者への支援を通して地方創生を図ることを目的としています。地域の実情に応じた事業に交付されることから、「お米券」の配付に活用している自治体もあります。

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響が続く中、村では、プレミアム付商品券を発行して家計を応援します。また、村内事業所で勤務する方や、ふるさと住民の皆さんにも対象を広げ、需要を喚起し地域経済を活性化すると共に、ふるさと住民との交流拡大にも活用します。

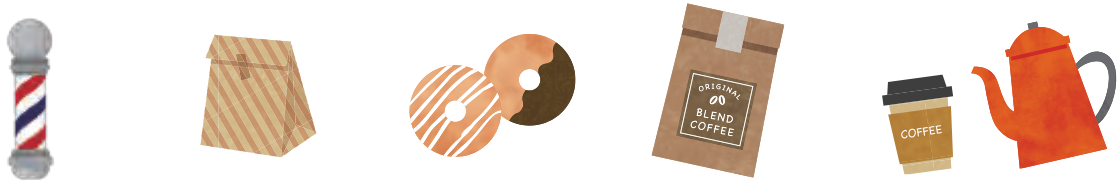
家計と事業と交流を応援
ふるさとを元気にする
プレミアム付商品券!



いいたてプレミアム付 ほのぼの商品券 取り扱い事業所一覧

● 印は県外発送が可能な事業所です。

赤石沢工業装飾(大久保・外内)	☎090-7069-0607	内装工事、畳工事、カーテン、カーペット、ブラインド
● 桧久里珈琲(福島市)	☎024-563-7871	コーヒー、菓子
あぶくま自動車販売(前田・八和木)	☎090-8785-8930	自動車販売、修理、点検
荒木屋(飯樋町)	☎0244-43-2016	ガソリン、水道工事、村指定ごみ袋
● 荒商店(飯樋町)	☎080-1665-9516	酒類、いいたて希望の里学園制服・運動着
飯舘環境衛生清掃社(比叡)	☎0244-43-2424	一般廃棄物収集運搬、浄化槽維持管理
飯舘自動車工業(草野)	☎0244-42-1121	車検、点検、修理、用品販売
● 飯舘村森林組合(臼石)	☎0244-42-0055	林業用資材(鉋・笹刈刃など)、伐採
● いいたて村の道の駅までい館(深谷)	☎0244-42-1080	食料品、雑貨、農産物、レストラン
● セブンイレブンいいたて村の道の駅までい館店(深谷)	☎0244-42-1087	食品、生活雑貨
● いいたて結い農園(大久保・外内)	☎090-6228-2129	エゴマ、エゴマ油
臼石自動車整備工場(臼石)	☎0244-42-0308	車検、一般整備、用品販売
● SK プラスト(前田)	☎090- 6224-7216	鉄製品の錆落とし
ゑびす庵(飯樋町)	☎0244-43-2018	手打ちうどん、丼ぶり、定食
● エムケーファーム(臼石)	☎024-563-6910	野菜、加工品
● 園芸ヘブン(宮内)	☎090-7568-6150	花苗、花束、リース、フラワーギフト
● 大内測量設計事務所(八木沢・芦原)	☎090-4884-9083	測量(境界測量・分筆登記・建物登記)、ドローン撮影
オートショップ山田(川俣町)	☎024-573-2988	車販売、修理
● 菓子工房cocitto(草野)	☎080-5416-3764	菓子
● カネコ林でんきや(臼石)	☎0244-42-0300	電気工事、電化製品
● 鹿山電気商会(深谷)	☎090-1060-7315	家電製品、電気工事、水道工事
北原商店(草野)	☎0244-42-0057	ガソリン、軽油、灯油、オイル、タイヤ
農家レストラン 気まぐれ茶屋ちえこ(佐須)	☎080-5551-8749	酒、飲食、弁当
協北工建(飯樋町)	☎090-4479-1258	新築、リフォーム工事、設備(風呂・流し台・洗面台)
ゲストハウスCOCODA(上飯樋)	☎070-1159-9690	宿泊、食事提供、カフェ
工房マートル(草野)	☎080-1654-8174	キャンドル
佐藤モータース(上飯樋)	☎0244-43-2316	自動車整備、タイヤ販売
● SAGA DESIGN SEEDS(伊丹沢)	☎070-1474-2129	SHIRUBE(ハーブティー)
● Sun Style(比叡)	☎080-2815-7213	新品・中古タイヤ、農機具部品、日用品、タイヤ交換
JAふくしま未来 サービス飯舘給油所(深谷)	☎0244-42-0029	燃料、家電、ガス、リフォーム、農機具、催事



- 商品の在庫やサービスの内容などはお出かけ前に各店舗にご確認ください。
- 商品券の転売はできません。
- 上記の取り扱い品目は一例。その他の商品・サービスについては各事業所にご確認ください。

宿泊体験館きこり(深谷)	☎0244-42-1012	宿泊、日帰り入浴、岩盤浴(イオラ)
食事処 柿の木(草野)	☎090-4630-4724	飲食
● 図図倉庫(ズットソーコ)(深谷)	☎0244-26-7720	視察案内、コワーキング、ドリンク、セレクト商品
大黒屋(福島市)	☎090-6852-4853	食料品、酒類
高橋石材工業(上飯樋)	☎090-2026-1133	石に関する工事、販売(石彫含む)、外構工事
つどい茶屋Jazz喫茶くま(上飯樋)	☎090-1513-1917	喫茶、音楽
● 肉のゆーとぴあ(関根・松塚)	☎090-2993-6062	精肉
二瓶刃物(刃物の館やすらぎ工房)(草野)	☎024-533-0418	包丁※電話は福島店にて対応
● ノエビア福島相双販社(福島市)	☎090-9038-0968	化粧品、健康食品
パーマはうす髪化粧(草野)	☎090-7525-7807	美容業全般、店販売※予約制
ハシドラッグ飯舘店(草野)	☎0244-26-6975	医薬品、食品、雑貨
長谷川電気工事(宮内)	☎0244-42-0245	電気工事、管工事(水道工事)、電化製品
花井美容室(草野)	☎0244-42-0046	シャンプー、カット、パーマ、カラーリング、矯正
英工務店(臼石)	☎0244-42-0161	修理、リフォーム
濱田建設工業(草野)	☎0244-42-0078	カタログギフト
濱田石材工業(草野)	☎0244-42-0078	カタログギフト
ハルミ塗装(上飯樋)	☎0244-43-2659	一般建築、鉄骨、リフォーム塗装
福島石販(福島市)	☎0120-66-1483	石材製品、墓石修理リフォーム、墓石彫刻
JAふくしま未来 飯舘営農センター(深谷)	☎0244-42-0125	肥料、農薬、種子、農業資材全般、食品、雑貨、飲料
福相建設(小宮)	☎0244-43-2428	舗装、U字溝、敷碎石
福相農園(小宮)	☎0244-43-2428	農作業(草刈、畑の耕起)
ヘアーサロン花井(臼石)	☎080-5225-2977	理容業、店頭販売
● までい工房美彩恋人／古今呂の宿福とみ(前田・八和木)	☎080-5740-4656	農家民泊宿泊、注文弁当、食品加工品
マデイズカフェ(小宮)	☎0244-26-6238	洋食ランチ、ディナー
南東北クボタ飯舘営業所(深谷)	☎244-42-0316	農機具販売、修理
● MUTAS COFFEE(草野)	✉ mutascoffee@gmail.com	コーヒー焙煎豆、コーヒー関連雑貨
村カフェ753(深谷)	☎0244-26-7536	ベーグル、コーヒー
麵屋 骨道(草野)	✉ kotsudou.iitate@gmail.com	飲食
理容さかもと(川俣町)	☎080-1669-6131	理容
渡辺輪業自動車整備工場(飯樋町)	☎0244-43-2082	自動車、整備、セニアカー、自転車、タイヤ



- おつりは出ません。差額は現金でお支払いください。
- 使用期限は9月30日で、以降は無効となります。
- 金券や公共料金の支払いなど商品券では支払いができないものがあります。

入賞作品のなかから3つの読書メッセージをピックアップして紹介します。
写真の皆さんが手にしているのは表彰状と副賞の図書カードです。



最優秀賞 花井咲心さん
(いいたて希望の里学園6年生)

図書館がくれた宝物って何ですか？
この物語に出てくる兄妹は、理由があつて「家族」を探しています。この兄妹にとつての宝物とは？私は答えが分かった時、心が温かくなるのを感じました。



『図書館がくれた宝物』
ケイト・アルバス 作 櫛田理絵 訳 徳間書店



優秀賞 赤石澤勇輝さん
(いいたて希望の里学園8年生)

この物語は、墨谷二中の野球部に入学した谷口が青葉学院に勝利するため、部員達と様々な挑戦をしていく物語です。上手にプレーできなかった谷口が、血のにじむ努力で段々上達していく過程をぜひお楽しみください。



『キャプテン』
ちばあきお 原作 山田明 著 学研プラス



優秀賞
堀川 真紀・笑愛 さん
(一般)

親子で参加！

食べる音の表現が面白く、初めての読み聞かせでは、親子で大爆笑。次の読み聞かせでは、娘は面白さが分かっていて、表紙を見ただけで大笑いしていました。読み手による違いも楽しい一冊です。



『おいしい おと』
三宮麻由子 文 ふくしまあきえ 絵 福音館書店

第26回

読書メッセージコンテスト

私の1冊を紹介します



おすすめの本の紹介文を幅広い世代から募集する「読書メッセージコンテスト」。本との出会いが広がることを願って、村が毎年実施しているコンテストです。今回のコンテストには全国から322点の応募がありました。入賞作品は昨年11月の審査会で決定し、表彰式は12月23日に、交流センター「ふれ愛館」といいたて希望の里学園で行いました。学園での表彰式には高橋教育長が出席し、本との出会いを通して「驚いたり感動したり、わくわくしたり、考え込んだりして、頭と心に栄養を与えて成長してほしい」と願いを伝え、「ぜひ次回も参加してほしい」と呼びかけました。

交流センター「ふれ愛館」にて入賞作品を展示しておりますので、本の魅力を伝え合う一つひとつのメッセージに、ぜひ触れてみてください。また、それぞれの本の貸し出しも行っておりますのでご利用ください。ご応募いただいた皆さん、素敵なメッセージをありがとうございました。

審査結果はこちら！ お名前とおすすめの本について紹介します。(敬称略)

■ 最優秀賞	花井 咲心 ^{さくら} (いいたて希望の里学園6年)	『図書館がくれた宝物』 ケイト・アルバス 作 櫛田理絵 訳 徳間書店
■ 優秀賞	大久保 昊 ^{こう} (いいたて希望の里学園4年)	『プロ直伝!メダカの飼い方 繁殖&交配ガイド』 水谷正一 監修 実業之日本社
	鈴木 愛蓮 ^{あれん} (いいたて希望の里学園6年)	『給食番長』 よしながこうたく 作 好学社
	赤石澤 勇輝 ^{ゆうき} (いいたて希望の里学園8年)	『キャプテン』 ちばあきお 原作 山田明 著 学研プラス
	佐藤 莉央 ^{りお} (いいたて希望の里学園9年)	『ルックバック』 藤本タツキ 作 集英社
	堀川 真紀・笑愛 ^{まき えま} (一般)	『おいしい おと』 三宮麻由子 文 ふくしまあきえ 絵 福音館書店
■ 佳作	小林 永茉 ^{えま} (いいたて希望の里学園1年)	『さわってたのしむ点字つきえほん1』 フラ・スター/ジェンマ・ウェスティング 著 ポプラ社
	鈴木 愛澄華 ^{あすか} (いいたて希望の里学園3年)	『アリクイにおまかせ』 竹下文子 著 小峰書店
	山田 安土 ^{あど} (いいたて希望の里学園8年)	『昔話法廷season5』 NHK Eテレ「昔話法廷」制作班 編 森下佳子 原作 イマセン 法律監修 金の星社
	佐藤 慎太郎 ^{しんたろう} (いいたて希望の里学園8年)	『杉原千畝ものがたり 命のビザをありがとう』 杉原幸子・杉原弘樹 著 金の星社
	森本 英莉 ^{えり} (一般)	『宙ごはん』 町田そのこ 作 小学館

放課後児童クラブ「つくしんぼハウス」 クリスマスを楽しみました

12月24日、放課後児童クラブ「つくしんぼハウス」(学童保育)にて、クリスマスランチが提供されました。クリスマスカラーのサラダ、チキンやケーキに子ども達は大喜び。また、楽しいクリスマスになるよう、子ども達が飾り付けたツリーも並びました。



12月24日の
クリスマスランチ。

クリスマスツリーをみんな
で飾り付け。室内がぐっとク
リスマスらしい雰囲気にな
りました。

いいたて希望の里学園 森永さんお米をありがとう!

12月19日、森永正男さん(前田・八和木)から、うるち米「コシヒカリ」ともち米「あぶくまもち」、それぞれ30kgを寄贈いただきました。森永さんには前期課程の子ども達が、田植え・稲刈り体験や米作りの学習でお世話になっており、寄贈の「あぶくまもち」にも子ども達が携わっています。「元気に育ったお米をおいしく食べてほしい」と森永さん。子ども達は感謝を伝え、「自分達で育てたお米を味わって食べたい」と目を輝かせていました。



代表で4年生が受け取りました。いただいたお米は給食で使用し、おふかしなどで味わう予定です。

ままでの里のこども園 防災に取り組んでいます

1月23日に避難訓練を実施しました。いざという時に子ども達が落ち着いて行動できるよう、訓練は月に1度実施し、季節に応じた注意点も確認しています。地震発生の放送を合図に、身を守る動作から避難まで、全員が落ち着いて行動できました。避難完了後はホールに移動し、避難のポイント「おはしも」(押さない・走らない・しゃべらない・戻らない)や冬の避難の注意点を、先生と一緒に確認しました。



机の下でダンゴムシのポーズ。その後は先生の指示に従い速やかに外へ避難しました。



1月16日に、いいたて希望の里学園、ままでの里のこども園で「だんごさし」が行われました。

いいたて希望の里学園 地域の皆さんと「だんごさし」

アドバイスをもらいながら縁起物の飾り付けも行いました。



いいたて希望の里学園では、1年生が、飯館村老人クラブ連合会の皆さんと一緒に「だんごさし」を行いました。団子を手づくりするところから体験し、茹でて冷ました団子の一つひとつミズキ(だんごの木)の枝に挿しました。

老人クラブの皆さんと、やさしい笑顔を交わしながら「だんごさし」を完成させた子ども達。地域との交流を深めながら、伝統文化に触れることができました。

地域の方と一緒に楽しくだんごづくり。上手にできましたね。



ままでの里のこども園 力を合わせて「だんごさし」

こども園では、3歳以上の園児が、飯館村老人クラブ連合会や保護者の皆さんと「だんごさし」を行いました。子ども達は、五穀豊穡を願ってミズキ(だんごの木)の枝に挿す団子の意味や縁起物のいわれを教わりながら、団子を挿し、工作遊びでつくった大判小判なども一緒に飾りました。最後まで協力をして美しいだんごさが完成すると、飾りに手を伸ばしたり先を見上げたりして、眺めを楽しんでいました。

力を合わせ色とりどりの華やかな「だんごさし」を完成させました。





令和7年度の「ここから調査」について

調査票発送 2月中旬より発送予定。

回答方法 郵送で回答もしくはオンライン（スマホ・パソコン）で回答。

※8月31日までに回答した方には、個人結果通知書が送付されます。

令和7年度の調査については、令和8年2月中旬から、調査票が発送される予定です。
8月31日までに回答した方には、個人結果通知書が送付されます。普段の生活では気付にくい「こころ」や「からだ」の変化についてチェックする機会としても活用できます。
また、専門的な支援が必要と判断された場合には、公認心理師、保健師、看護師等による「ここから健康支援チーム」から連絡があります。

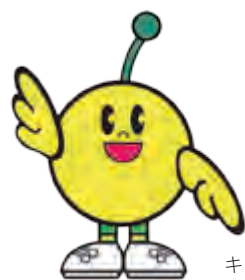
15年目の節目のプレゼント企画！

令和7年度の調査は、開始から15年目の節目の調査。全ての調査票に、キビタンのイラスト入りボールペンが同封されています。

また、4月30日までに回答した方を対象に、福島県観光物産館が厳選した13市町村の特産品が抽選で500人に当たるプレゼント企画も実施されます。調査票に同封のチラシをご覧ください。応募用紙と返信用封筒を利用してご応募ください。

「ここから調査」はオンライン回答も可能です（詳しくは調査票をご覧ください）。オンライン回答の場合は、回答フォームから応募ができます。

※プレゼント企画については4月30日までに回答・応募をした方が対象です。



※右のチラシはイメージです。

キビタン©福島県



飯舘村の特産品として飯舘産黒毛和牛のドライエイジングビーフが掲載されています。

問 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
☎024-549-5170
午前9時～午後5時（土・日曜日、祝日を除く）

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

令和7年度「県民健康調査」こころの健康度・生活習慣に関する調査 「ここから調査」のお知らせ

福島県立医科大学を心に福島県が実施している「ここから調査」（こころの健康度・生活習慣に関する調査）について、令和7年度の調査が15年目の節目の調査となることから、「飯舘村の村民の皆さんに改めてお知らせし、調査への理解を深めていただきたい」と、広報・周知の依頼がありました。
今回の調査では、節目に合わせて、調査対象となっている13市町村の特産品が当たるキャンペーンも実施することです。
詳しくは、2月中旬に同大学が発送する調査票に同封の資料をご覧ください。このページでも、「ここから調査」とキャンペーンの概要について、お知らせします。

「ここから調査」（こころの健康度・生活習慣に関する調査）とは？

「ここから調査」（こころの健康度・生活習慣に関する調査）は「県民健康調査」の一つ。東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故が起きた平成23年時に避難区域等に指定された市町村等の住民を対象に「こころ」と「からだ」の健康状態を調査しています。保健・医療・福祉にかかる適切なケアや支援を、一人ひとりに寄り添う形で提供することを目的に行われています。

「平成23年時に避難区域等に指定された市町村等」とは、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部（特定避難勧奨地点の属する区域）を指します。平成23年3月11日から平成24年4月1日まで対象地域に住民登録をしていた方や、調査実施年度の4月1日時点で対象地域に住民登録をしていた方に、調査票が送付されます。

令和3年度調査から、「ここから調査」の愛称ができました。「ここから調査」の愛称には、「こころとからだの調査」の意味に加えて、「復興への新たなステージにおいて県民の健康増進を"ここから（この調査から）皆で始めよう！"という願いも込められています。

福島県立医科大学のホームページ上にも詳しい情報があります。右のQRコードからご覧ください。



令和8年 飯舘村二十歳の成人式

1月11日、交流センター「ふれ愛館」で『飯舘村二十歳の成人式』を挙行了しました。今年の式には対象の20歳・34人のうち16人が出席しました。

今年20歳を迎えた皆さんの多くは、全村避難に伴い川俣町に設置された仮設小学校の最後の卒業生で、「いいいて希望の里学園」の第二期生でもあります。それまで誰も経験したことなかった教育環境で学び、多くの葛藤や困難を乗り越え、そ

れぞれに成長を遂げて二十歳の成人式に集いました。

式では出席者を代表し、高橋大和さんが、「こうしてまた故郷に集うことができたことに感謝し二人の大人として、社会の一員として自覚を持ち、自らの行動に責任を持つことをここに誓います」と誓いの言葉を述べました。

苦楽を共にした友人や恩師との再会に、二十歳の笑顔が輝きました。



当時の先生方にも多数ご出席をいただき、二十歳の皆さんが感謝の花束を贈呈。また、先生方が一人ずつ、当時を振り返り、祝福の言葉を贈りました。

「誓いの言葉」を述べる高橋大和さん。



一人ひとりに「二十歳の証書」を授与。



二十歳の成人式記念パーティーで交流



式に続いて、実行委員会が主催する『二十歳の成人式記念パーティー』が交流センター「ふれ愛館」の研修室にて開かれました。先生方にもご出席をいただき、思い出を語ったり現在の様子を報告したりして、久しぶりの再会を喜び合いました。

実行委員会が館内を装飾。懐かしい写真を掲示したコーナーでは、多くの人が友人や家族と思い出を語り合っていました。



「はたちの20冊」から一人ひとりが選んだ図書が、記念品として贈られました。



庄司幸人さん(上写真)、渡邊諒介さんが「感謝のメッセージ」を発表。

日本列島に強力な寒波が襲来した1月下旬。飯舘村でも降雪が数日間続きました。写真は1月22日、いいたてスポーツ公園の陸上競技場です。雪は止んで、雲の間から青空がのぞいています。サラサラと軽い雪が薄く積もったグラウンドに、ジョギングの靴の跡が残っていました。公園内の遊歩道にも散歩の足跡が楽しげに並んでいて、普段は見えないさまざまな人の動きが、真っ白な新雪の上に表れていました。

過疎地域持続的発展計画 パブリックコメント実施中です

1月21日から2月13日(必着)の期間、「飯館村過疎地域持続的発展計画」(案)のパブリックコメントを受け付けています。

この計画は法律に基づき、人口減少などが課題となっている過疎地域の自治体が策定するもので、持続的な発展のために必要な施策を、さまざまな分野で計画して実行します。

計画(案)は期間内、村役場・いちばん館・交流センター「ふれ愛館」で閲覧ができる他、村のホームページでも公表しています。



役場は住民課窓口にて閲覧資料があります。ホームページの閲覧ページは左のQRコードから。ご意見は書面の提出・郵便・電子メール・ホームページの問い合わせフォームにてお願いします。2月13日必着です。



絵本を通して大人も子どもと一緒に楽しい時間を過ごしました。



物語の世界が広がる 『絵本ライブ』を開催しました

1月25日、交流センター「ふれ愛館」で、『絵本ライブ』を開催しました。出演は、絵本ライブユニット「にじのかた」で、4年連続の開催です。

大型絵本の読み聞かせや、歌に合わせたパネルシアターにぐっと引き込まれたり、かけ声やダンスで参加したり、さまざまなアプローチで物語の世界を味わいました。毎年参加している子ども達が覚えた歌をどんどん口ずさむなど、ライブならではのコミュニケーションが和やかに広がりました。

クリスマス・コンサート 多数の来場者がJAZZを堪能

昨年末の12月20日、自主文化事業「クリスマス・コンサート」を、交流センター「ふれ愛館」で開催しました。出演は、ギタリストの浅利史花さん、ピアニストの石田衛さん、ヴォーカリストの近藤淳さんと県立福島高校ジャズ研究部。浅利さんは同研究部の出身者でもあります。また、来場者は100人を超えました。スタンダード曲を中心に、クリスマスを彩るジャズ・ナンバーが演奏され、会場を魅了。出演者全員によるアンコール演奏では、客席の皆さんも体でリズムを取りながら手拍子を打ち、会場が一体となっていました。



一流の演奏者による贅沢なステージ。村外からも多くの人が訪れ、ホールは満員に。

令和8年飯館村消防出初式 冬の青空の下約100人が参加

1月4日、交流センター「ふれ愛館」のホールで、『令和8年飯館村消防出初式』が行われました。

式には、飯館村消防団78人、役場消防隊10人、女性消防隊7人の計95人が参加しました。杉岡村長は式のあいさつで、多岐にわたり複合的な災害が多発している現状に触れ、迅速かつ適切に対応できるよう、危機管理体制を常に見直し、強化することの大切さについて語り、「その先頭に立つ存在として改めて気を引き締め、備えることを念頭に置いていただきたい」と団員を激励しました。



式に続き、交流センターの駐車場にて、杉岡村長、川村仁団長(関根・松塚)らによる観閲も行われました。

明治大学本所ゼミが 令和7年度の取り組みを報告

1月26日、交流センター「ふれ愛館」で、明治大学農学部の本所ゼミが、令和7年度「人・農・食・いいたて」未来へつなぐ事業の報告会を行いました。「つくる人(生産者)と食べる人をどうつなぐか」をテーマに実践的な活動を行う同ゼミは、村の生産者と深くつながり、飲食店や企業とも連携して、商品開発、農産品・商品の販売、PR活動などを行っています。3人の学生と本所靖博先生が、各プロジェクトの内容とそこで得た手応えを報告。生産者と共に、杉岡村長や村職員らが、心のこもった連携と実践に感謝を伝えました。



報告会の様子。左のポスターは、村の食材を使用したメニューを川崎市内の商業施設のレストランで販売した昨秋のもの。活動内容は多彩です。



飯館村食を考える会が 『豆腐づくり教室』を開きました

1月14日、いちばん館の調理実習室で、飯館村食を考える会主催の『豆腐づくり教室』が開催され、14人が参加しました。同会は震災前にもこの教室を開催していましたが、震災後は今回が初めての開催です。

教室では初めに、「バランス食について」「大豆からできるもの」をテーマに“ミニ講話”が行われ、続いていよいよ豆腐づくりの実習です。参加者は、作業のポイントを詳しく教わりながら、豆腐づくりを楽しんでいました。大豆からつくることで、豆の味が濃い豆乳やおから、豆腐が完成しました。



写真は型に布を敷き、豆腐を固める工程。教室は継続開催の予定です。ぜひ皆さんもご参加ください。

前田行政区が役場で「だんごさし」

1月14日、前田行政区の皆さんが、今年も役場庁舎の玄関ホールに「だんごさし」を飾ってくださいました。当日は現地に約15人が集まり、全体のバランスなどを確認しながら、色とりどりの団子や縁起物を大きなミズキ（だんごの木）の枝に飾りました。見事な「だんごさし」が完成すると、来庁者や職員が足を止め、華やいだ景色を楽しんでいました。



バドミントン交流会in飯館

1月25日、いいたて希望の里学園の体育館で、いいたてスポーツクラブ主催・CRSスポーツ工業株式会社協賛の「第12回バドミントン交流会」が開催され、約40人の参加者がダブルスの対戦を楽しみました。

<ダブルス戦 試合結果> (敬称略)

- 男子 1位 安藤晃・郡愛仁(福島市)
2位 武野祐真・須和大(南相馬市)
3位 引地琉生・鈴木健吾(南相馬市)
- 女子 1位 村松里実・佐藤優香(CRS)
2位 高野江美・今野可菜子(福島市)
3位 林さい子・佐藤敦子(飯館村)
- 混合 1位 村松里実・本多良平(CRS)
2位 佐藤海斗・佐藤かりん(福島市)
3位 小野啓人・佐藤優香(CRS)



新・地域おこし協力隊がつながってコンサート♪

昨年12月に、サポートセンターつながってで、5日間にわたりクリスマスコンサートが開催されました。出演は、「つどい茶屋JAZZ喫茶くま」で活動をスタートした2人の地域おこし協力隊、シンガーソングライターのShimva(シンバ)こと小川奈々恵さんと、ピアニストの早野壮さん。クリスマスソングを中心に、利用者さんの世代にも懐かしいポップスなども演奏し、会場を大いに盛り上げました。利用者さんも小物を身につけ、クリスマスの扮装でコンサートを楽しみました。



また、小川さんがタレントのなすびさんに贈ったエベチャレ(エベレスト登山チャレンジ)応援歌「Re:challenge」が演奏されると、歌のメッセージに感動し涙する人も。心の交流と歌の力に元気をもらい、素敵なひとときを過ごしていました。



新たな食事処「神八」が間もなくオープン!

飲食店「芳頼 神八」が2月14日にオープンします。「神八」は午前7時に開店し、温かな蕎麦とうどんを中心に、朝メニューを提供。地元食材を生かしたランチは11時頃からです、テイクアウトもOK。店内はカウンターに5席、奥の部屋にはテーブル席もあり、予約も可能です。

「役場をはじめ関係各所や事業所の方、事務全般をサポートいただいた方など、たくさんの人にお世話になりました。皆さんがいなかったら実現できなかったでしょう」と感謝する店主の小野さん。「村で暮らす人はもちろん仕事で通う人にも気軽に利用してほしい」と考えています。「季節に応じたメニューや花見弁当などの企画、子育て家庭の支援につながる活動もしていきたい」とその後の展開も構想しています。



温かな蕎麦・うどんと、いなり寿司・卵焼き・唐揚げなど、サイドメニューの試作。

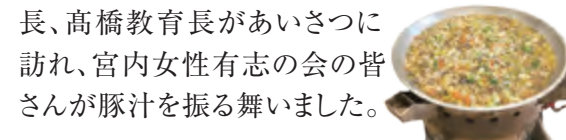


芳頼 神八
飯館村草野字大師堂65
営 午前7時～午後2時
休 土・日曜日定休
※初回の予約は店頭で。

※開店日の2月14日と翌15日は土・日曜日ですが午前11時から営業します。

CRSスポーツ工業が大会を開催

1月10日・11日の2日間、いいたて希望の里学園の体育館で、小学生のバレーボール大会『第1回CRSスポーツ工業杯』が開催されました。県内外から9チームが出場し、関係者を合わせて約150人が来場。体育館が熱気に包まれました。村内2工場で操業している同社は、佐藤充社長を中心に地域の活性化にも貢献しています。杉岡村長、中川副村長、高橋教育長があいさつに訪れ、宮内女性有志の会の皆さんが豚汁を振る舞いました。



和気あいあいのピラティス教室

12月11日、「ふるさと飯館村で『自分らしく』生きよう会」(菅野クニ代表/宮内)のピラティス教室が交流センター「ふれ愛館」で行われました。交流と健康増進を目的に7年間継続している教室で、講師は宮谷理恵さん(福島市)。今年度は幅広い年代の37人が参加していて、「月3回のこの交流が一番楽しい」という声も。この日は今年度の最終回で、愛媛県出身の宮谷さんから、地元特産のミカンのプレゼントもありました。



環境大臣・復興大臣が来村

12月25日に石原宏高環境大臣が、1月15日に牧野たかお復興大臣が来村しました。村はこの機会に両大臣へ要望書を提出し、懇談で現状を伝え意見を交わしました。

要望書の内容は「環境再生事業の理解醸成の推進」「脱炭素村づくりに向けた支援」「帰還困難区域の再生・発展支援」については共通で、環境大臣には「残存する未除染地の対応」、復興大臣には「復興財源の確実な確保」なども要望しました。

両大臣はそれぞれ、長泥地区も訪れ、環境再生情報ひろば(ながどろひろば)などを視察すると共に、地区の皆さんと言葉を交わし交流しました。



石原環境大臣(左から2人目)に要望書を提出。



牧野復興大臣(右から2人目)に要望書を提出。

1月の村の動きと主なできごと

- 4日・飯館村消防出初式(交流センター「ふれ愛館」)
- 5日・仕事始め式 村長訓示(交流センター「ふれ愛館」)
- 11日・令和8年二十歳の成人式(交流センター「ふれ愛館」)
- 15日・牧野たかお復興大臣 来村(村役場・長泥地区)
- 18日・移住定住「暮らし体験ツアー」参加者交流イベント
(東京都千代田区・3x3Lab Future)
- 20日・農業委員会定例総会(村役場)
- 24日・福島イノベーションコースト構想企業立地セミナー
(東京都千代田区・大手町プレイス)
- 24日・あぶらまつ「いたての冬」(宿泊体験館きこり他)
- 25日・絵本ライブ(交流センター「ふれ愛館」)
- 26日・第1回飯館村地域再生計画事業評価委員会(村役場)
- 27日・「人・農・食・いたて」未来へつなぐ事業 明治大学委託事業活動報告会
(交流センター「ふれ愛館」)
- 27日・第51回衆議院議員総選挙 公示
- 28日・定例教育委員会(村役場)
- 28日・第51回衆議院議員総選挙期日前投票 開始(村役場)
- 30日・第5回学校運営協議会(村役場)
- 30日・動画で学ぶはじめての読み聞かせ講座(交流センター「ふれ愛館」)
- 30日・株式会社マルナカ防災用品寄贈式(村役場)
- 31日・いいたてプレミアム付ほのぼの商品券 販売開始(飯館村商工会館)

百歳 賀寿

佐藤ヨシノさん(八木沢・芦原)

大正14年12月30日生まれの佐藤さん。約30人の親族の皆さんに囲まれ和やかに、賀寿の式に臨みました。

若い頃は「夫婦で百姓をして、よく働いていた」そうです。佐藤さんは何をやっても器用で、仕事や家事の他、編み物なども手早くこなしていたそうです。現在は入居施設で、計算問題や塗り絵をして過ごしています。また、自分で車椅子をこぐこともあるというお達者ぶりです。

佐藤さんは飯館村で54人目の100歳です。令和8年1月1日現在、村には100歳以上の方が9人いらっしゃいます。どうぞこれからもお健やかに、ご長寿を重ねてください。

MYSH株式会社 企業版ふるさと納税

1月14日、MYSH株式会社(本社:東京都港区/福島浜通り支社:南相馬市)から、企業版ふるさと納税(寄附)を行っていただきました。お申し出により、いいたてっ子未来基金で活用させていただきます。

代表取締役CEOの向井裕人さんは、「飯館村は可能性にあふれ、チャレンジができる場所。それを多くの人に知ってほしいと考えています。子ども達がいきいきと暮らし、将来また戻って来たいと感じる村になってほしいと願っています」とふるさと納税に込めた思いを話していました。



杉岡村長に目録を手渡す向井代表取締役CEO。

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)は、国が認定した地方公共団体の地方創生事業に対して企業が行う寄附で、地方創生を応援しながら税の控除が受けられる仕組みです。飯館村ではホームページ上に情報を掲載し(右のQRコードから)企業版ふるさと納税を募集しています。



地域のためお客様のために一途な仕事で応える

有限会社 鹿山電気商会



「有限会社鹿山電気商会」は、代表の鹿山真広さん（深谷）の父・眞明さんが、昭和38年に創業した設備工事業の会社です。平成9年に法人化し、同時に真広さんが代表となりました。

当初は家電販売が中心でしたが、水道設備業、住宅の電気設備業と事業を拡大し、村のライフラインを支えてきました。

「子ども達が小さい頃は店が遊び場でした。店に立ち寄った方とコーヒーを飲んだり話したり、そんな日常がありました」と振り返るのは共に会社を盛り立ててきた妻のあや子さん。



令和2年に完成した現在の社屋。

その子ども達も現在は会社を支える存在になりました。大学卒業後に入社した長男の真史さんと妻の美希子さん、次男の真之さんは震災前から。その後に長女の鈴木里美さんも入社し、業務を担っています。

「生活が整う前に仕事が始まっていた」という多忙な日々でしたが、福島市に拠点を確保し、資材置き場を借りて乗り越えました。令和2年2月には村に新社屋が完成。隣接する資材置き場も建て替えました。

現在も、村のインフラに関わる業務を担い、一方で広域な現場を持ちながら、「お客様ファースト」の丁寧な仕事を貫いています。法人化から間もなく30年。真広さんは歩みを振り返り「村の役に立てる仕事を子ども達に託していきたい」と穏やかに話していました。



飯館村管工事組合を介して浄水場の施設の清掃業務なども行っています。

有限会社鹿山電気商会
飯館村深谷字二本木前23-1
☎0244-42-0032

令和4年の『第4回電気工事技能競技全国大会』で、福島県代表として出場した真史さんが優勝し、金賞・経済産業大臣賞と『ジャパンeスキルチャンピオン』の称号を手に入れました。写真は受賞時のスピーチの様子。優勝者の役目で、2年後の第5回大会ではポスターのモデルを務めました。



餅の文化

歴史の散歩道

暮らしを彩る節目のご馳走

飯館村には、正月の餅の他、節句の餅、川入り餅、お盆の餅、秋餅など、年間を通じてさまざまな節目に餅をつく習慣がありました。ついた餅は神仏に供え、特別なご馳走として家族で味わいました。

川入り餅とは、乾燥・保存したヨモギを入れてつく餅で、「水に入っても浮き上がるように」と食べるならわしでした。

秋餅は新米でつき、あんこ餅、つゆ餅、きなこ餅などにして、餅づくしの食事を楽しましました。また、親戚や農作業を手伝った家に「升餅を持参し」「餅振る舞い」をしました。嫁がこの餅を持つて実家に帰る習慣もありました。

特別なハレの日の餅つきは、手製の「手つ杵」で「よい

しょよいしょ」とかけ声をかけてつきました。短い杵で、つき方が早いので、こねどりが大変でした。

正月の餅つきに合わせ「もやし飴」もつくられました。粟にもち米を少量混ぜて煮て冷まし、石臼でひいた大麦の粉を入れ一日置いて袋でこしました。これをとろ火で煮つめると完成で、餅に付けて食べたそうです。

冷害に見舞われ食べ物に恵まれない年も多かった飯館村ですが、餅のなわらしにあるように、工夫を凝らし想いを込めてまていな食文化を紡いでいました。

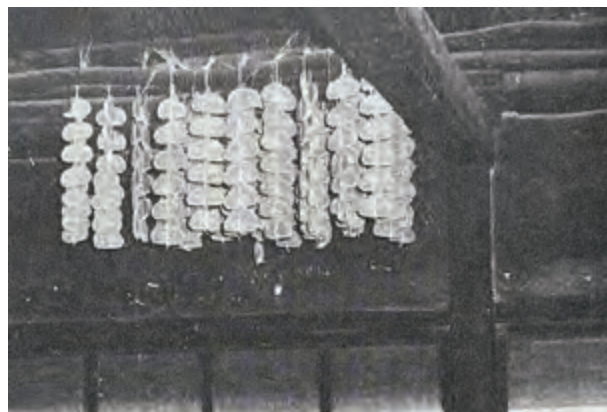
現在栽培を推進しているもち米「あぶくまもち」の加工にもその伝統は受け継がれています。

参考：飯館村史第3巻「民俗」



全村避難の期間にも仮設住宅の自治会などが餅つきを行い、村の暮らしを懐かしみ励まし合いました。

平成26年1月・旧伊達東仮設住宅



厳冬期の気候を生かしてつくる凍み餅。家の梁（はり）に下げて乾燥させました。（昭和期の写真）

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

二十歳の皆さんに贈る
「はたちの20冊」を制作しました



今年も一般財団法人出版文化産業振興財団（JPIRC）のご協力のもと『はたちの20冊』の冊子を制作し、1月に行われた「飯館村二十歳の成人式」の出席者に、本を贈りました。

『はたちの20冊』は、20歳を迎えた方はもちろん、大人の方にもおすすめの本が紹介されています。また、紹介されている20冊は、交流センターで貸し出しを行っています。ぜひ手に取って、新しい本との出会いのきっかけにしてみてください。



写真は二十歳の成人式の実行委員会の皆さん。『はたちの20冊』の図書を手に入れた様子。

立村70周年の年をともに歩もう 一人ひとりのワクワクを大切に

第39回

杉岡 誠 村長の

愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



新しい年を迎えて、早1か月が経過しました。新春8日の「CRSSスポーツ工業杯 in いいたて」は「スポーツを通じて飯館村を盛り上げていきたい」との社の想いがこもったバレーボール大会でした。ハシドラッグ飯館店のお弁当に加えて、宮内行政区の女性陣により振る舞われたお手製の豚汁200人前を完食した小学生選手達が、ひとチームずつ調理室を訪れて「ありがとうございました。美味しかったです」と、元氣よく感謝の言葉を伝えていた姿がとても印象に残りました。すでに令和8年度の構想もお聞かせいただいていますので、皆様ぜひお楽しみに。

「いいたてプレミアム付ほのぼの商品券」はもうご購入されましたか？

村民の皆様全員が対象です。また住民票がなくても村内事業所でお勤めの方、ふるさと住民票をお持ちの方も対象です。1月31日より村商工会にてプレミアム率60%の商品券を販売しておりますので、今月号の特集をご覧ください、ぜひ生活にお役立てください。

今年も前田行政区の「だんごさし」が、役場玄関をにぎやかにしてくださっています。その鮮やかさを愛でつつも、季節を大切にしてきた先人の知恵と昔ながらの風習の尊さに心を寄せます。いいたてホームでも、職員の方々が年間を通じて季節を感じる飾り付けを心がけておられます。ときに斬新、ときに芸術的でもあり、洗練された仕上がりにも何時も驚かされます。厳寒の飯館村ですが、村内のあちこちに飾られた心のこもったセンス溢れるお飾りや美しいお花をぜひ探してみてください。

今年も飯館村「立村70周年」の節目であり、4月からは「第7次総合振興計画」がスタートいたします。その将来像

「美(うる)わしく 清らかな村 いいたて」

は村の原風景であり、我々村民が目指すべきふるさと像でもあります。村民歌に歌われている言葉二つを胸に、今こそ手と手をつなぎ、ともに励みながら、皆様の財産たる村を興し、村を富ませていきましょう。

そのためにも、お一人お一人がワクワクしたり、楽しんだりすることを見つめながら、かけがえのない時間を大切にお過ごしいただければ幸いです。

村ならではのダイナミックな自然や四季の移ろいを味わいながら、楽しく歩んでまいりましょう。

■ひとのうごき

おくやみ

氏 名	年齢	行政区
井 上 家 治 さん	93	深 谷
高 野 光 雄 さん	88	八木沢・芦原
佐 藤 勝 衛 さん	81	前 田
末 永 ケ サ さん	95	深 谷
須 和 正 則 さん	66	関 沢
高 橋 洋 子 さん	49	長 泥
志 賀 哲 男 さん	76	蕨 平
佐 藤 シヅエ さん	94	宮 内
佐 野 文 子 さん	69	上飯樋
小 林 マサ子 さん	93	関 沢

ご冥福をお祈り申し上げます



ひとのうごき 令和8年1月1日現在

人 口	今月 (前月比)	12月1日～31日までの人口動態
●男	2,214人(－6)	転入 7人
●女	2,130人(－6)	転出 9人
計	4,344人(－12)	出生 0人
世帯数	1,790戸(+5)	死亡 10人
		(住民基本台帳人口)



(12月16日から1月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

住まいのこれからについて一緒に考えましょう！

空き家サポーター



大井美千子さん
(草 野)



空き家サポーターMessage 住み継ぐ村の宝

大切な住まい。安心・安全なマッチングに努めます

いいたて空き家サポーターの大井美千子です。思い出の詰まった大切な住まいを、誰かに譲ったり貸したりしようかと考えた時、どんな人が使うのかは最も大きな心配ですね。

3ど°は、内見希望者へ、利用目的やどんな暮らしがしたいのかなどの事前ヒアリングを大切にして、気持ちよいマッチングができるように努めているそうです。村内の物件情報は、「WEBメディア3ど°」でも見られます。気になる方はのぞいてみてください。

空き家空き地バンク・住まいの利活用に関するご相談は
いいたての暮らしをつなぐステーション3ど°
(いいたて移住サポートセンター)

伊丹沢字伊丹沢578番地 1
☎0244-68-2850

「WEBメディア3ど°」
の物件情報ページは
こちらから▶



皆さんが広報委員！
いいたて PHOTO リレー
月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。



「アルバムを見ていたら昔の家族写真が出てきて、ふと懐かしく若い頃の自分を思い出してしまいました。一所懸命だったろうか？そこから、二十歳を迎えた皆さんへメッセージを伝えたくくなりました」。渡邊さんから送っていただいたのは、その家族写真と、現在の趣味であり地域の子供達や村を訪れる人などに教えている木工細工の写真です。「自分は昔から文章を書くのが好きでした。それは今も変わりませんが、写真の木工細工や、ゴルフ、日曜大工など、思えば今の年齢になってもいろいろなことに興味を持って取り組み、楽しい毎日を送れていると感じます。二十歳の皆さんをはじめ、今の若い人達も自分と同じように、たくさんこのことに興味を持って、いろいろなことにチャレンジしてくれるとうれしいですね。自由でいいから、何事にも一所懸命に生きてほしいな」。好きなことに挑戦し続ける渡邊さんから、優しい笑顔と共にメッセージをいただきました。

3月号
2/16締切
例えば…「節分」「バレンタイン」「ウグイス」「猫」をテーマに。

4月号
3/16締切
例えば…「ひな祭り」「卒業式」「桜」「チューリップ」をテーマに。

- 写真様式 データ、現物を問いません。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選 考 応募多数の場合は選考します。
- 報 償 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定住係(広報担当:巻野) ☎0244-42-1613

イタネちゃん



「110番広報活動推進員」も頑張ります！

110番通報は本来の目的で！警察への
相談事は#9110に電話もしくは
最寄りの警察署等へ。

1月9日、「110番の日（同



県警本部通信指令課の小松聖英課長から
「110番通報広報活動推進員」の委嘱状を
受け取るイタネちゃん。右は司会を務
めたTUFの佐々木夢夏アナウンサー。

50体を超えるキャラクターが大
集合！イタネちゃんがど
こにいるか分かるかな？



通信司令室にて通報受理の模擬体験にも挑戦！



県や県警のキャラクターと交流するイタネちゃん。

〈編集後記〉

飯館村にも雪が降り
積もり、本格的な冬景
色となりました。寒さ
は厳しいですが、私は
季節の中で冬が一番好
きです。降り積もった
雪が生活音を消し、し
んと静まっている様子
に、心が落ち着きます。
特に飯館村の雪の夜は、
一切の音が消えたよう
な感覚に陥ります。白
銀の雪景色も素敵です
が、目だけでなく耳で
も飯館村の冬を楽しんで
みてはいかがでしょうか。
(巻野)

天から降り注ぐ綿雪の
中で小躍りしていた私、
無限ループで急斜面のソ
リすべりに熱中していた
私、雪便りを待ち侚びて
ゲレンデに通った私はど
こへ行ってしまったので
しょう。車を降りるなり
「わー、さぶいっつ、さぶ
いっつ」と連呼し自分を
鼓舞して歩いている私を
変えたいです。(星)

2/27
まで

ご協力をお願いします！
広報いいたて読者アンケート

よりよい紙面づくりに活用させていただきます。
以下の回答方法でご協力をお願いします。

- 1 村内施設（役場・交流センター「ふれ愛館」・いちばん館）に設置しているアンケート用紙に回答を記入し回収ボックスへ。
- 2 村のホームページからオンラインで回答。
- 3 右のQRコードからも回答できます。



問 村づくり推進課 ☎0244-42-1613